

よこはま動物園ズーラシア

コウノトリの「キコニア・タマコ」が死亡しました



▲元気な頃の「キコニア・タマコ」

よこはま動物園で飼育していたコウノトリの「キコニア・タマコ」が死亡しましたので、お知らせします。

○コウノトリ「キコニア・タマコ」

- (1) 性 別 メス
- (2) 出 生 日 平成15年3月11日 (19歳4か月)
- (3) 死 亡 日 時 令和4年7月20日 (水) 8時10分死亡確認
- (4) 死 因 調査中
- (5) 経 過 前日までは普段通りの行動をしていましたが、7月20日の朝に死亡しているところを確認しました。

●キコニア・タマコのプロフィール

平成15年(2003年)に東京都多摩動物公園で生まれ、平成30年(2018年)にオスの「ボイキアナ・ハシオ」とペアでズーラシアに来園しました。タマコはハシオと羽づくろいをしたり、クラッタリング(主に求愛や威嚇のために行われる、くちばしを激しく開閉して叩き合わせて音を出す動作)を行ったりとても仲の良いペアでした。毎年のように産卵し、今年は5月に野生復帰への支援を目的に千葉県野田市「こうのとりの里」へ有精卵の移動も行いましたが、孵化せず来年に期待していた矢先の出来事でした。タマコはコウノトリの魅力的な姿を多くの来園者に知っていただくことに貢献した個体でした。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問い合わせ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■コウノトリについて

和名	コウノトリ
英名	Oriental Stork
学名	<i>Ciconia boyciana</i>
分類	コウノトリ目 コウノトリ科
分布	アムール川流域、中国南東部
生態	ヨーロッパなどで繁殖する朱色の嘴をしたシュバシコウの亜種とされてきましたが、大きさや性質などかなりの違いがあり、別種として扱われることもあります。この亜種は、シベリア南東部と中国東北部で繁殖し、冬季には中国南東部に渡って越冬します。日本でも 1959 年頃までは繁殖していましたが、現在では冬鳥としてまれに 1 羽から数羽が渡来するにすぎません。1956 年に国の特別天然記念物に指定されて、2005 年には兵庫県立コウノトリの郷公園において、飼育下で繁殖した個体の野生復帰を目指す試験放鳥が開始されています。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I : 絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧 I B 類 (EN) ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
当園飼育頭数	3 羽 (オス 2 羽、メス 1 羽) ※今回死亡した個体を含まず
国内飼育頭数	18 施設 182 羽 (オス 88 羽、メス 94 羽) ※令和 3 年 12 月末現在

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）
- ◆休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）12/29～1/1 ※臨時開園あり
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆URL：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000

※ よこはま動物園ズーラシアでは、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

- ・発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。
- ・屋外において近い距離で会話をする場合や、屋内施設をご利用の際は、マスクの着用をお願いします。
- ・熱中症予防のため適宜マスクを外して、水分や休憩をおとりください。

その他詳細はホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。